

「弟子の家に行かれた」マルコによる福音書1章29～34節

イエスが礼拝後、弟子たちとペトロの家を訪れた時、ペトロは驚きと喜びを感じたことでしょう。彼はイエスに従い始めたばかりで、自分の家にイエスが来られるとは思っていなかったはずで、家では、ペトロの義母が熱を出して寝てました。イエスは彼女の手を取って、彼女は癒されました。「もてなす」、ということは「仕える」と言った意味で用いられます。この癒されたしゅうとめは、この家において真っ先に主イエスに仕えたのです。主イエスが家に来られた時、もてなしたのは、弟子達ではなく、しゅうとめだったのです。この出来事は一見小さな奇跡に見えますが、福音書全体として重要なことが示されています。それは、信仰の歩みが家族や日常生活と深く関わっている、又女性の働きの重要性です。この癒しを通して、彼女に救いがおとずれて、主イエスに仕えるものとなったということです。イエスの苦しみの働きは、私たちの日常や家庭においても行われているのです。

地区信徒大会のチラシをご確認ください。教会のメ切は10月20日（日）です。

日本キリスト教団 浦河教会

週報

No. 26 2024年9月29日



〒057-0022 北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

牧師 大槻茂勝

090-9716-1353

2024年9月29日 (No.26)

聖霊降臨節 20 主日礼拝

司会 ヤマモト ミツエ 奏楽 まつむら のぶえ
山本 充枝・松村 宣恵

ぜん そう 一 どう
前 奏 同
さんびか 一 どう
讚美歌 8 5 (2回) 同
いの しかいしゃ
祈 り 司会者

せい しょ しかいしゃ
聖 書 マルコ福音書 1 章 29~34 節 司会者
(新約聖書 62 頁)

さんびか 一 どう
讚美歌 1 6 同

説 教 「弟子の家にでは」 ぼく し
牧 師

さんびか 一 どう
讚美歌 4 1 9 同

けんきん かんしゃ いの 一 どう
献金 と感謝 の祈 り 同

しゅ いの 一 どう
主 の祈 り 6 2 同

しょう えい 一 どう
頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 同

しゅく とう ぼく し
祝 祷 牧 師

ほう こく
報 告

あたら こ かつ ひさ かつ しょうかい
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【今週の集会】

◇役員会

本日 15時15分 於 礼拝堂

◇一緒に聖書を読み祈る会

10月2日(水) 19時 於 礼拝堂

〈マルコ9章42~50節〉(新約聖書80頁)

さんびか
讚美歌 461番・55番

【次週の予定】

◇主日礼拝 10月6日(日) 14時

聖書 マルコ福音書 1 章 35~39 節

讚美歌 155番・563番

◇役員会 15時15分 於 礼拝堂

◇一緒に聖書を読み祈る会

10月9日(水) 19時 於 礼拝堂

〈マルコ10章1~12節〉(新約聖書80頁)

さんびか
讚美歌 463番・57番

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる
④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美

⑦高崎 晋 ⑧山本 潔 ⑨早坂 潔

⑩荻野 仁 ⑪和田智子 ⑫吉田公子

【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝	22名	10,413 円
(9月22日)		

祈祷会	3名	
(9月25日)		

の と はんとうじしんきゅうえんぼきん
能登半島地震救援募金

9月22日 0円累計 17,876 円

頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように

5. キリストのゆるしが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように

